

## 感染性胃腸炎の流行について

富士北稜高校 保健室

注意



ここ数年、山梨県内でも多くの『感染性胃腸炎の集団感染』が発生しており、幼稚園や保育園・小中学校での学級閉鎖や老人介護施設や病院内での発生も報道されました。

感染性胃腸炎の主な原因ウイルスである“ノロウイルス”は、**感染力が非常に強く**、少量のウイルス(10~100個)でも感染し発症するため、家庭はもちろん集団生活の場である学校では、一人の患者から容易に集団感染を起こします。

### 特徴



- ・食中毒ですが、食品の中では増殖せず、人の小腸粘膜で増殖する
- ・感染すると24~48時間で、吐き気・おう吐・腹痛・下痢・発熱など（強い吐き気やおう吐、腹痛が多い。熱はあまり高くない）
- ・3日以内に回復することが多いが、胃部違和感などは続く
- ・免疫の持続は短期間であるため、一度感染しても再度感染する



### 予防



- ・手洗い（流水で30秒以上）ノロウイルスにはアルコールは無効
- ・うがい（のどの湿度を高める効果もある）
- ・十分な休養と睡眠（体の抵抗力を保つ）
- ・栄養と運動で体力を落とさないこと（おう吐や下痢は体力が落ちるため他の病気も引き込みやすい）

★医療機関により、ウイルス性胃腸炎・流行性嘔吐下痢症などの診断名をつけることもあります。原因菌が確認されると『ノロウイルス』による感染性胃腸炎とはっきりわかります。

普段から、手洗い・うがいの更なる習慣づけとともに、吐き気や下痢などの胃腸炎症状が見られる場合は、**早めに医療機関を受診し治療を受ける**ことが大切です。

受診の結果「感染性胃腸炎・ノロウイルス」など診断されましたら速やかに担任へ連絡しましょう。学校感染症により**出席停止**になりますので、学校にある証明書に主治医からの**登校許可をいただいてから登校**します。

なお、胃腸炎症状が治まっても、長い場合は3~4週間糞便中にウイルスは排泄されます。

